

五稜会病院

抑うつ症状を主とする 入院患者を対象とした 短期集団認知行動療法

～気分改善とストレス自己管理を目的としたプログラムの長期的効果の検討～

中村 亨・春名 大輔・福原 佑佳子・松岡 みずほ
(医療法人社団 五稜会病院)
山内 剛
(北海道医療大学大学院心理学研究科)
坂野 雄二
(北海道医療大学心理学部)

2009年10月12日 第35回日本行動療法学会 (千葉)

五稜会病院

1972年開設
札幌市郊外の住宅街に位置する精神科病院
標榜科名: 神経科・精神科・心療内科・消化器科・内科


病床数: 193床 (2008年度入院者数: 625名 退院者数 632名)

急性期病棟	38床
ストレスケア・思春期病棟	48床
開放療養病棟	54床
準閉鎖療養病棟	53床

精神科デイケア: 定員 120名 (70名 + 50名)
女性デイケア・復職支援プログラム

医師: 常勤 8名・非常勤 6名 看護師: 80名

2008年度新規患者数: 1880名
1日平均受診者数: 212名
(デイケアを含む)



五稜会病院

ストレスケア・思春期病棟

2003年10月開設
従来の精神科病院の雰囲気を一掃することを目指し、設計された病棟 (48床)

最大入院期間: 90日



2008年度

性別: 男性 26.3% 女性 73.7%

年齢: 35.1才

診断:	F2 8.1%	F3 58.1%
	F4 21.7%	F5 2.7%
	F6 4.7%	F7 0.4%
	F8 1.6%	F9 2.7%

平均入院期間: 48.2日

五稜会病院

ストレスケア・思春期病棟 “グループセミナー”

2005年7月より開始

対象者
10-40歳代のうつ病、抑うつ症状を主症状とする
ストレスケア・思春期病棟入院患者

目的
気分改善とストレス自己管理。

5セッションからなる短期集団認知行動療法プログラム

2つのテーマ別コースがあり、交互に実施。
最大入院期間 (90日) で両コースに参加可能。

入院SSTとしてコストを算定。

プログラム途中で退院の場合、外来での参加を認める。

五稜会病院

プログラムのねらい

気分 (特に抑うつ気分) とストレスの自己管理をねらったコース
(気分・ストレスコース)

- 抑うつ症状を主症状とする患者を対象に、抑うつ気分の自己管理を狙う。
- 退院後の生活のストレスから生じる抑うつ症状の再燃を予防する。

⇒ 抑うつ症状の改善と共に生活再適応、抑うつ症状の再発予防においても気分やストレスの自己管理できることが必要。

社会的スキルと適切な自己表現の向上をねらったコース
(対人関係コース)

- 入院生活中の患者同士の対人関係の改善、病棟スタッフとのコミュニケーションの改善を図ることによってストレスの軽減を狙う。
- 退院後に予想される家族や友人との対人関係上の葛藤やストレスに関連する問題を予防する。

⇒ ストレス管理の一環として対人関係の問題を扱うことが必要。

五稜会病院

プログラムの概要

プログラム構成: 5セッション (週1回, 約1時間)

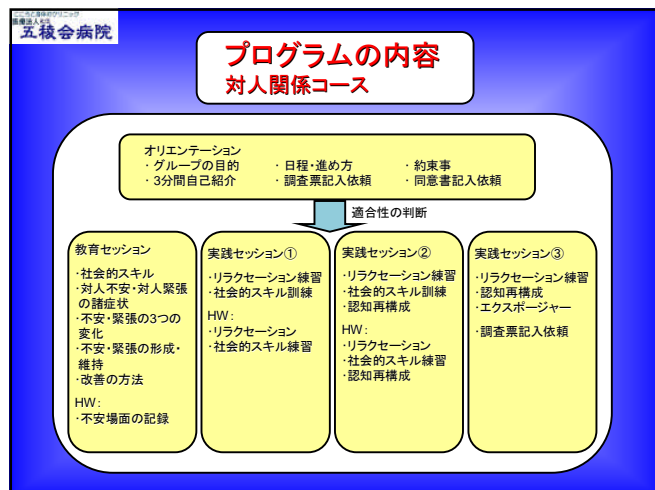
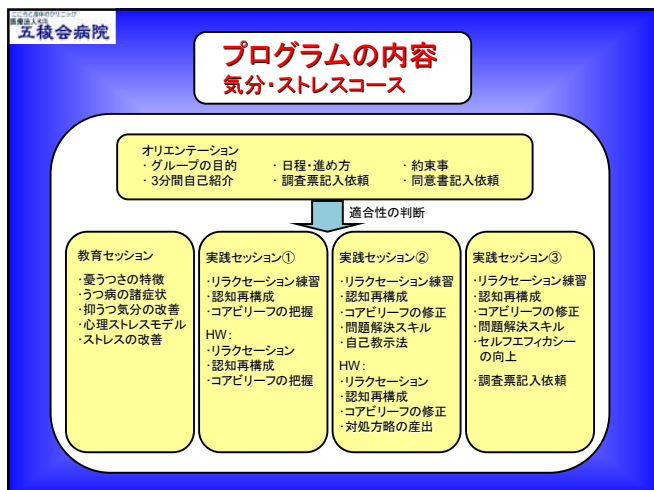
- ・ オリエンテーション 1回
- ・ 教育セッション 1回
- ・ 実践セッション 3回

定員: 6名

スタッフ
トレーナー 心理士
サブ・トレーナー 看護師 (+心理士)

アセスメント
オリエンテーションと最終回に質問票を配布
6か月後に郵送によるフォローアップ調査

プログラムの適合性については主治医の診断 (統合失調症、躁病性障害、双極性障害、摂食障害は除外)、およびオリエンテーション時に実施されるアセスメントによって判断。



五稜会病院 目的

- 短期的な治療効果検討
プログラム前後の各測定指標の変化から、改善効果を検証する。
- 長期的な治療効果の検討
プログラム終了後、6カ月後の各測定指標の変化から、改善の維持効果を検証する。

五稜会病院 効果判定

気分・ストレスコース

- ・ Cognitive Appraisal Rating Scale (CARS)
出来事への認知的評価の測定
- ・ Tri-axial Coping Scale (TAC-24)
対処行動の測定
- ・ Stress Response Scale-18 (SRS-18)
心理的ストレス反応の測定
- ・ Beck Depression Inventory (BDI)
抑うつ症状の測定
- ・ WHOQOL短縮版 (QOL-26)
生活への全体的な適応度の測定

対人関係コース

- ・ Social Interaction Anxiety Scale (SIAS)
対人交流で感じる不安と効力感の測定
- ・ Short Fear of Negative Evaluation Scale (SFNE)
他者から否定的に評価されることへの恐怖の測定
- ・ Social Skills Scale (SSS)
社会的スキルの測定
- ・ Beck Depression Inventory (BDI)
抑うつ症状の測定
- ・ WHOQOL短縮版 (QOL-26)
生活への全体的な適応度の測定

五稜会病院 短期的効果の検討

気分・ストレスコース

分析対象者
プログラム前後でデータが得られた55名
(SRS-18のみ1名記入漏れのため54名)

男性17名、女性38名
年齢: 33.13 ± 10.40歳

診断
F3 45名
F4 8名
F6 2名

分析方法
プログラム前後で対応のある検定を行った。

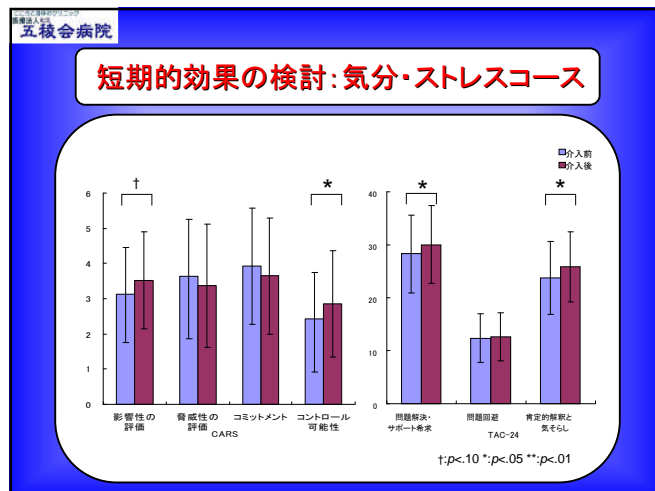
対人関係コース

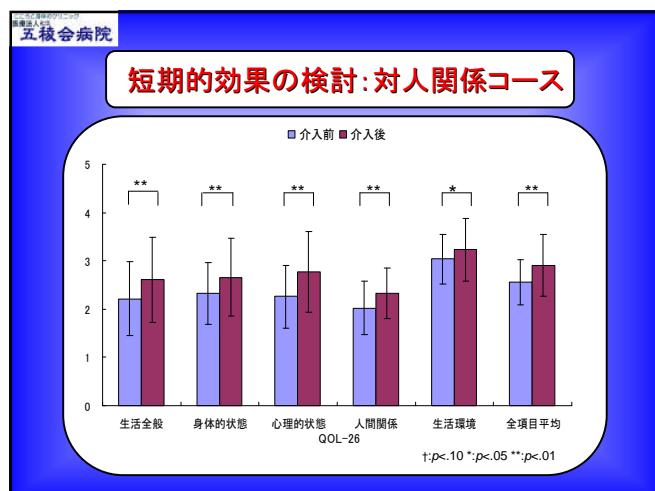
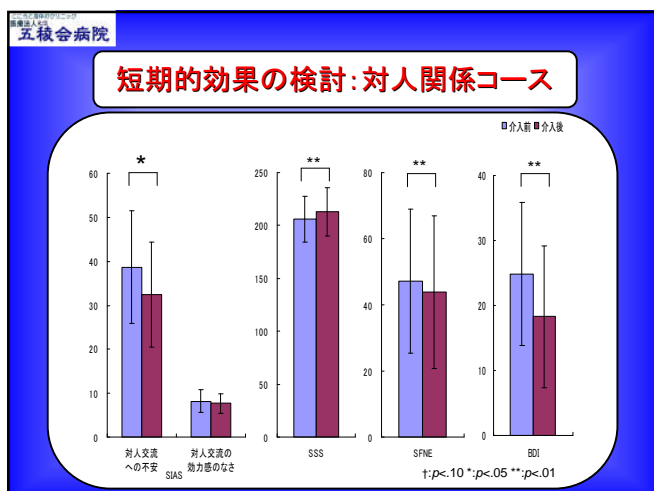
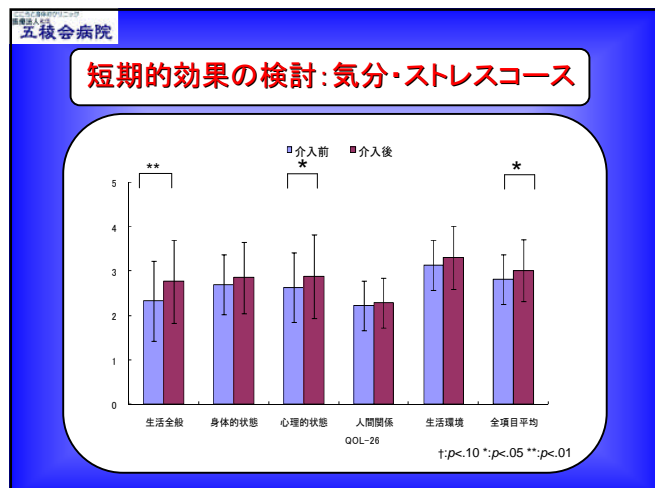
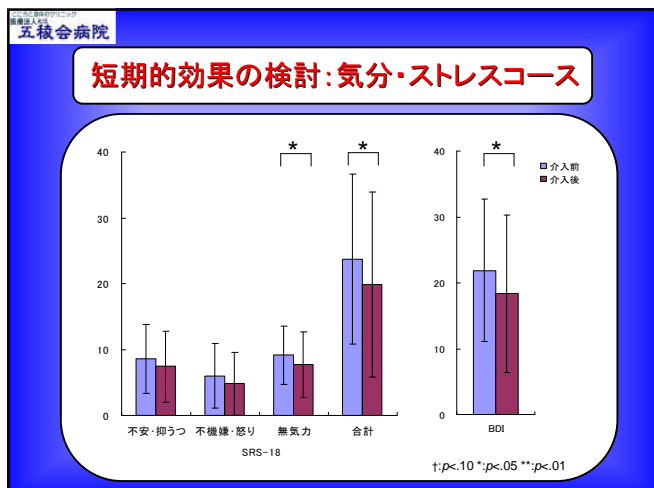
分析対象者
プログラム前後でデータが得られた53名

男性19名、女性34名
年齢: 34.23 ± 9.49歳

診断
F3 43名
F4 5名
F5 1名
F6 4名

分析方法
プログラム前後で対応のある検定を行った。





五稜会病院

短期的効果の検討のまとめ

気分・ストレスコース

問題を感じる出来事に出会った時、
 ・それが自分に影響あることだと考えることができる。
 ・その問題をコントロールできると考えることができる。

何とかその問題を解決しよう考えることができ、周りにサポートを求めようと思えることができる。

肯定的に考えたり、気分転換をはかり、気分をコントロールしようと思えることができる。

抑うつ症状が軽くなる。
 生活の満足度が上がる。

対人関係コース

他人とかかわる際に感じる不安が軽くなる。

他人から否定的な評価を受けることへの恐怖が減る。

社会的スキルが向上する。
 抑うつ症状が軽くなる。
 生活の満足度が上がる。

五稜会病院

長期的効果の検討

気分・ストレスコース

分析対象者
 プログラム前後と6カ月後のフォローアップでデータが得られた14名
 男性 4名, 女性 10名
 年齢: 30.43 ± 7.05歳

診断
 F3 12名
 F4 1名
 F6 1名

分析方法
 プログラム前後、プログラム前とフォローアップで効果量を算出した。

対人関係コース

分析対象者
 プログラム前後と6カ月後のフォローアップでデータが得られた12名
 男性 6名, 女性 6名
 年齢: 32.92 ± 9.91歳

診断
 F3 8名
 F4 2名
 F5 1名
 F6 1名

分析方法
 プログラム前後、プログラム前とフォローアップで効果量を算出した。

五稜会病院 長期的効果の検討: 気分・ストレスコース

変数	介入前vs介入後				介入前vsフォロー			
	ES	z	95%CI	90%CI	ES	z	95%CI	90%CI
CARS								
影響性	0.99	2.68*	0.27 ~ 1.71	0.38 ~ 1.59	0.50	1.33	-0.24 ~ 1.25	-0.12 ~ 1.13
脅威性	0.13	0.78	-0.20 ~ 0.47	-0.15 ~ 0.42	0.38	1.18	-0.25 ~ 1.00	-0.15 ~ 0.90
コメント	0.00	0.00	-0.46 ~ 0.46	-0.39 ~ 0.39	-0.22	0.69	-0.84 ~ 0.41	-0.74 ~ 0.31
コントロール	0.35	1.30	-0.18 ~ 0.87	-0.09 ~ 0.79	0.16	0.65	-0.33 ~ 0.66	-0.25 ~ 0.58
TAC-24								
解決・サポート希求	0.19	0.98	-0.19 ~ 0.58	-0.13 ~ 0.51	-0.06	0.26	-0.51 ~ 0.39	-0.44 ~ 0.32
問題回避	0.36	0.83	-0.49 ~ 1.20	-0.35 ~ 1.07	0.39	1.25	-0.22 ~ 1.01	-0.13 ~ 0.92
肯定・気そらし	-0.01	0.07	-0.28 ~ 0.26	-0.24 ~ 0.22	-0.07	0.37	-0.45 ~ 0.31	-0.39 ~ 0.25

*p<.05, †p<.10

五稜会病院 長期的効果の検討: 気分・ストレスコース

変数	介入前vs介入後				介入前vsフォロー			
	ES	z	95%CI	90%CI	ES	z	95%CI	90%CI
SRS-18								
不安・抑うつ	0.21	1.92†	0.00 ~ 0.42	0.03 ~ 0.38	0.50	2.31*	0.07 ~ 0.92	0.14 ~ 0.85
怒り・不機嫌	0.06	0.25	-0.39 ~ 0.51	-0.32 ~ 0.44	-0.06	0.22	-0.58 ~ 0.46	-0.50 ~ 0.38
無力	0.31	1.35	-0.14 ~ 0.75	-0.07 ~ 0.68	0.09	0.42	-0.34 ~ 0.53	-0.27 ~ 0.46
合計	0.21	1.64	-0.04 ~ 0.46	0.00 ~ 0.42	0.20	1.08	-0.16 ~ 0.55	-0.10 ~ 0.49
BDI								
合計	0.23	1.05	-0.20 ~ 0.65	-0.13 ~ 0.58	0.07	0.34	-0.33 ~ 0.47	-0.27 ~ 0.46
QOL-26								
生活の質	0.52	1.84†	-0.04 ~ 1.07	0.05 ~ 0.98	-0.07	0.28	-0.55 ~ 0.41	-0.47 ~ 0.34
身体的状態	0.35	1.19	-0.23 ~ 0.93	-0.14 ~ 0.84	-0.29	0.96	-0.89 ~ 0.30	-0.79 ~ 0.21
心理的状態	0.24	1.81†	-0.02 ~ 0.48	0.02 ~ 0.44	-0.05	0.33	-0.33 ~ 0.24	-0.29 ~ 0.19
人間関係	-0.17	0.78	-0.59 ~ 0.26	-0.52 ~ 0.19	-0.18	0.66	-0.70 ~ 0.35	-0.62 ~ 0.26
生活環境	0.37	1.04	-0.33 ~ 1.07	-0.21 ~ 0.96	0.26	0.93	-0.28 ~ 0.80	-0.20 ~ 0.71
合計	0.34	1.54	-0.09 ~ 0.78	-0.02 ~ 0.71	-0.05	0.25	-0.46 ~ 0.36	-0.40 ~ 0.29

*p<.05, †p<.10

五稜会病院 長期的効果の検討: 対人関係コース

変数	介入前vs介入後				介入前vsフォロー			
	ES	z	95%CI	90%CI	ES	z	95%CI	90%CI
SIAS								
対人交流不安	0.25	0.99	-0.24 ~ 0.74	-0.16 ~ 0.66	0.54	1.76†	-0.06 ~ 1.15	0.03 ~ 1.05
自覚のなさ	0.06	0.29	-0.35 ~ 0.47	-0.29 ~ 0.41	-0.14	0.68	-0.55 ~ 0.27	-0.49 ~ 0.20
合計	0.22	0.93	-0.25 ~ 0.69	-0.17 ~ 0.61	0.48	1.72†	-0.07 ~ 1.03	0.02 ~ 0.94
SFNE								
合計	0.62	2.20*	0.07 ~ 1.17	0.16 ~ 1.09	1.19	2.24*	0.25 ~ 2.14	0.40 ~ 1.99
SSS								
合計	0.18	0.96	-0.19 ~ 0.55	-0.13 ~ 0.49	-0.01	0.06	-0.29 ~ 0.28	-0.25 ~ 0.23
BDI								
合計	0.08	0.27	-0.50 ~ 0.65	-0.40 ~ 0.56	0.34	0.79	-0.50 ~ 1.18	-0.36 ~ 1.05
QOL-26								
生活の質	0.05	0.15	-0.53 ~ 0.62	-0.44 ~ 0.53	0.66	1.36	-0.29 ~ 1.60	-0.14 ~ 1.45
身体的状態	-0.03	0.16	-0.43 ~ 0.37	-0.37 ~ 0.30	0.60	1.73†	-0.08 ~ 1.28	0.03 ~ 1.17
心理的状態	0.20	1.07	-0.16 ~ 0.56	-0.11 ~ 0.50	0.35	1.03	-0.31 ~ 1.01	-0.21 ~ 0.90
人間関係	0.24	0.83	-0.33 ~ 0.81	-0.23 ~ 0.72	0.10	0.38	-0.44 ~ 0.65	-0.35 ~ 0.56
生活環境	-0.20	0.59	-0.88 ~ 0.47	-0.77 ~ 0.36	-0.57	1.43	-1.35 ~ 0.21	-1.22 ~ 0.08
合計	0.04	0.28	-0.25 ~ 1.03	-0.20 ~ 0.29	0.28	0.73	-0.48 ~ 1.03	-0.35 ~ 0.91

*p<.05, †p<.10

五稜会病院 長期的効果の検討のまとめ

気分・ストレスコース

影響性の評価
・プログラム後は問題を感じる出来事に出会った時、それが自分に影響あることだと考えることができる。
・フォローアップではプログラム前との差は認められなくなる。

不安・抑うつ
・プログラム後は不安・抑うつが軽減する傾向がある。
・フォローアップでは効果量が増し、有意な改善を認める。

生活の満足度
・プログラム後は一部の生活の満足度は改善する傾向がある。
・フォローアップでは、プログラム前との差は認められなくなる。

対人関係コース

対人交流への不安
・プログラム後はプログラム前との差は認められない。
・フォローアップでは他人とかかわる際に感じる不安が軽くなる傾向がある。

否定的評価を受けることへの恐怖
・プログラム後は他人から否定的な評価を受けることへの恐怖が減る。
・フォローアップでは効果量が増す。

生活の満足度
・プログラム後はプログラム前との差は認められない。
・フォローアップでは身体的状況への満足度は上がる傾向にある。

- ### 五稜会病院 今後の課題
- 治療前後の短期的変化として、各測定指標において期待される方向への変化が確認されたが、長期的な維持効果については今後の検討課題。
 - 対照群を設定することが必要。
 - 薬物療法を統制することが必要。
 - より大きな変化量を獲得するためにはプログラムの修正改善が必要。

五稜会病院

ご静聴ありがとうございました。

医療法人社団 五稜会病院
札幌市北区篠路9条6丁目2番3号
TEL: 011-771-5660
FAX: 011-771-5687
http://www.goryokai.com